# デロイト トーマツの人

#### テーマからインタビューを探す

プロフェッショナルたちは、なぜデロイトトーマツを選んだのか。 仕事内容、働く環境、目指すキャリアなど、デロイトトーマツで働くプロフェッショナルたちの声をお伝えします。

### 異業種からの転職/キャリアチェンジ



<u>できない理由ではなく、</u> できる方法を考える

デロイト トーマツ ファイナ ンシャルアドバイザリー 合同会社 マネージング ディレクター

事業会社出身/異業種からの転職



キャリアを変える/新天地に飛び込む勇気

デロイト トーマツ コンサル ティング合同会社 シニアマネジャー

異業種からの転職/働く 環境・魅力



100か0ではなく、働き方の選択肢がいくつもある

デロイト トーマツ リスクアド バイザリー合同会社 マネジャー

独立系SI企業出身/内部 監査・内部統制/異業種 からの転職/育児との両立 /働く環境・魅力

# できない理由ではなく、できる方法を考える

デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社 【M&Aビジネス】Digital統括 パートナー 〈2012年5月入社〉 事業会社出身 異業種からの転職/働く環境・魅力

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



# Q.Digitalの仕事内容について教えてください。

A. Digitalとは、ビジネス環境の激しい変化の中で、顧客や社会のニーズに合わせるために、業務(オペレーション)の変革やそれを可能にするテクノロジー(IT)を活用することであると考えています。

DTFAはM&Aや、企業再編・不正調査などのクライシスマネジメントの局面における重要な課題の解決を支援していますが、どのような課題においても解決策の1つとしてDigitalの観点は必要なものとなっています。

具体的には、M&Aでは大きくPre M&A、On Deal、Post M&Aと3つのフェーズに分けることができますが、Digitalではそれぞれのフェーズでサービスを提供しています。

Pre M&Aではテクノロジー(IT)やオペレーションの視点でM&Aにおけるフィージビリティを検討することが多いです。On DealではITまたはオペレーションに関するデューデリジェンスを行い、リスクを抽出し、買収価格への影響や対応方法を検討・報告を行います。Post M&Aでは、PMOや各検討領域における分科会の支援を行っています。また、現在ではM&Aの経験を活かして、新規事業の立ち上げなどゼロからイチを造り出す支援や、データ分析を軸にしたサービスも提供しています。

### Q.DTFAを選んだ理由を教えてください。

A. 新卒で事業会社に入社し、主に経理業務を中心とした業務改善コンサルティングやシステム導入支援に従事し、2012年にDTFAに転職しました。経理業務の仕事に面白みを感じていたものの、会社全体の1つの領域でしかなかったこともあり、抜本的に変えなければ、なかなか組織は変わらないと思い、より大きな変革に携わることのできる仕事に就きたいと考えるようになったのが転職のきっかけです。その中でDTFAを選んだ理由は、M&Aという企業の大きな変化に携われるという単純な理由でした。実際に入社してみると、M&Aだけでなく、クライシスなど様々な企業の重要な局面に関与することができますし、事業会社と比較すると組織の垣根が非常に低く、上下の関係もなく、非常に働きやすい環境であると思います。



### Q.どんな時に自身の成長を感じられていますか?

A. 私はM&Aのみならず、大型のクライシス案件にも関与してきていますが、社会や企業の重要な局面に接することが多く、非常にやりがいを感じています。重要な局面に関与するということは、その意思決定を左右することにもなりますので、常に緊張感を持って仕事ができることに成長を感じるとともに、そのスピードも非常に早いと感じています。



#### Q.今後の目標を教えてください。

A. コロナショックの影響もあり、選択と集中を検討する企業も多くあると思います。一方で、デジタル化が進む中で産業別の縦割りの業界構造が大きく転換しており、産業横断的なつながりも求められていると思います。

そうなると、カーブアウト(事業譲渡)や二社間だけでなく複数間企業でのM&Aが増えてくると考えています。その中での我々の役割としては、これまで通り業務(オペレーション)やテクノロジー(IT)観点でのリスク最小化の検討はもちろん、複雑な形態の中での企業や事業の垂直立ち上げ支援をより強化していければと思っています。また、FA業務の中では我々は稀有な存在でもあると思いますので、グローバルでの連携・協業等も進めていければと考えています。

また、社会アジェンダへの取り組みも開始しており、社会全体の課題にも取り組んでいきたいと考えています。

#### Q.DTFAに関心を持っている方へメッセージをお願いします。

A. Digitalという組織は、幅広い知識が求められる領域ではありますので、様々な知見のある方が集まって成り立つと思っております。ご自身の経験を活かせる機会は多くあると思いますので、興味がある方は踏みとどまらずに、是非チャレンジしていただければと思います。

様々なバックグラウンドを持った方々と一緒に働けることを楽しみにしています。

#### Q.この業界を目指す学生の方へメッセージをお願いします。

A. Digitalというと、テクニカルなスキルや知識がないと難しいと考える方も多くいるかと思いますが、現在一緒に働いているメンバーも初めは皆さんと同じだったと思います。一番大切なことは興味があることに携わりたいという意欲だと思いますので、その気持ちを強く持っていただければと思います。

# キャリアを変える/新天地に飛び込む勇気

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社 Finance & Performance シニアマネジャー 異業種からの転職/働く環境・魅力

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



### Q.就職の際、コンサルタントという仕事のどのような 部分に興味を持たれましたか

A. 元々、大学院で工学を学んでいた自身にとって、コンサルタントという仕事の魅力は大きく3つありました。

- 1. 年功序列ではなく実力主義であるところ
- 2. お客様(クライアント)と一緒に価値を創造できるところ
- 3. 企業や市場、世界を変えることができるポジションに存在するところ

実際にこの業界に飛び込んでみて、上記の魅力は正にこの職にチャレンジする前に想像していたものと一致するものでした。

寧ろ、第三者的な視点からアドバイスを提供するというより、クライアントと協業しながら一緒に"より良いもの"を創っていくというスタイルは、良い意味で自身の想像を超えたものであると日々感じています。

### Q.DTCに入って、どのような自己成長や自己実現ができましたか?

A. デロイトトーマツコンサルティング(以下、DTC)に参画して感じることは、大きく3つあります。

- 1. 自身の知見を拡張するためのチャンスが想像以上にあること(グローバル連携、他ファンクション連携、等)
- 2. 手を挙げれば、惜しみなく会社・組織としての支援を得られること
- 3. 日々切磋琢磨できる環境、仲間が周りにあること

"毎日"といっても過言ではないほど、日々新しいテーマに触れることができ、 自身の経験や知見、スキルを向上することができるチャンスが周りに満ち溢れている、と感じています。

### Q.DTCの職場環境やカルチャーについて教えてください

A. DTCの特徴は、

- 1.とても真面目
- 2. 面倒見が良い、成長・育成への支援を惜しまない
- 3. 組織の垣根を超えた連携を惜しまない
- ことだと実際に働く中で感じています。

特に育成面に関しては、各種のトレーニングが用意されており、またグローバル(US)で主催されるトレーニングに現地で参加させてもらったり等、数々の投資が行われています。



## Q.コンサルティングファームへの転職を検討されている 方にアドバイスおよびメッセージをお願いします。

A. キャリアチェンジには大きな"期待"と"不安"が伴うものと思います。 DTCには、皆さんのキャリアを実現するための多くのチャンスが存在します。 ぜひご一緒する機会を創れればと思いますので、チャレンジをお待ちして います。

# 100か0ではなく、働き方の選択肢がいくつもある

デロイトトーマツリスクアドバイザリー合同会社 GRC/オペレーショナルリスク マネジャー 〈2007年9月入社〉 独立系SI企業出身 内部監査・内部統制/異業種からの転職/育児との両立/働く環境・魅力

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



### Q.GRCの仕事内容について教えてください。

A. FO(フロントオフィス)職としてGRCに所属し、不動産業界のお客様を担当しています。業務内容は大きく分けて2つあり、1つ目が個人情報やマイナンバー、情報セキュリティに関する管理体制の構築や内部監査の支援。2つ目が内部統制報告制度(J-SOX)のサポートです。

前者は、経済産業省が公表する情報セキュリティ関連の基準や個人情報保護委員会が公表するガイドラインに従い、社内のルールを作成するところから、実践、内部監査、是正措置等の支援を行っています。

また、後者では、お客様の実態に合わせて経営者評価業務をサポートしています。

トーマツの業務は会計監査が主軸となっていますが、デロイトトーマツリスクアドバイザリー合同会社は会計以外の部分でも、お客様と一緒により良い方法を考えていくところが醍醐味でもあり、難しいところでもあります。

### Q.トーマツを選んだ理由を教えてください。

A. 以前は独立系のSI企業で金融機関のシステム構築やセキュリティ設計をしていました。

ですから、入社前はこれまでとまったく違う業界・業務に自分が対応できるのか不安もありましたが、それ以上に幅広い業務や知識に触れられる点に魅力を感じたのが、トーマツを選んだ理由です。 偶然ですが、前職の頃に簿記や財務諸表論、財政論などを勉強し、システム監査の資格も取っていたことが入社後は非常に役立っていますし、入社後は充実したトーマツの研修プログラムを活用しながら、業務に必要な知識を身につけていくことができました。



#### Q.子育てと仕事をどのように両立させているのか教えてください。

A. 私には2歳になる息子がいるのですが、現在はFWP制度(フレキシブル・ワーキング・プログラム)を利用しています。 これはライフステージに応じて休職や業務量軽減、業務時間軽減などを申請できる制度で、私は業務軽減を選択して、クライアントに伺わなければいけない案件を減らし、急ぎではない社内業務を増やしてもらっています。

また、子どもがまだ小さく、急な病気などでお休みすることもあるので、プロジェクトを担当する際は、なるべくバックアップを受けられるような体制を組んでいただいています。子どもが小さいうちは、仕事の第一線から外れて働く方も少なくないと思うのですが、その場合、キャリアが一時的にストップしてしまうことにもなります。私は、出産後も仕事内容は変えずに、業務量や時間で調整して、「細く長く」キャリアを構築したいと考えていたので、今の働き方は理想的ですね。それにトーマツでは子育てに関する制度は女性に限らず男性も利用しやすく、遠慮しなければならない雰囲気はまったくありませんから、安心して今の働き方を続けることができています。



### Q.今後の目標を教えてください。

A. 今、介護が必要な家族がいるのですが、今後のことを考えると公的なサポートや会社の制度も利用しながら、子育てと介護、そして仕事も続けることが理想です。

トーマツは会社としてはもちろん、上長の方も、一人一人のライフステージに合わせて成長することを期待してくれているので、業務量や内容を相談すると、チャレンジも、セーブもさせてもらえる風土があります。

100か0かではなく、場合によっては60でいいという働き方ができる制度があるのは、子育てや介護を考える上で、大きな安心感につながります。

仕事に子育てに介護と、すべてをこなすのは大変ですが、同時にそれぞれが良い意味での気分転換にもなります。 今、トーマツにも子育てをしながら働いている女性もたくさんいますし、今は別の会社で働いているけれど、子育てや介護をしながら、トーマツで働いてみたいという女性もたくさんいらっしゃると思います。

私が実践することで、トーマツならこういう働き方ができるということを知っていただけたら、嬉しいですね。